

令和元年度  
田上町教育に関する事務の  
点検及び評価報告書

令和2年9月  
田上町教育委員会

# 目 次

1. 学校教育環境の整備		
教育方針の計画的な展開	総合評価：A (91.6)	P 1
家庭や地域との連携	総合評価：B (80.0)	P 2
教育環境の整備	総合評価：A (85.0)	P 4
2. 教育内容の充実		
学ぶ意欲と確かな学力の向上	総合評価：A (90.0)	P 6
創意工夫を生かした教育活動の充実	総合評価：B (68.7)	P 7
いじめ、不登校に対応した指導体制	総合評価：A (81.2)	P 9
特別支援教育の充実	総合評価：B (75.0)	P 10
3. 生涯学習の条件整備		
生涯学習推進体制の強化	総合評価：B (68.7)	P 12
指導者・指導体制の充実	総合評価：B (75.0)	P 13
施設整備	総合評価：A (87.5)	P 14
4. 主体的な学習活動の支援		
学習機会の充実	総合評価：B (75.0)	P 15
主体的な活動への支援	総合評価：B (66.6)	P 19
5. 生涯スポーツの普及		
生涯スポーツの普及	総合評価：B (68.7)	P 20
スポーツ施設の整備	総合評価：B (62.5)	P 21
主体的な活動の促進	総合評価：B (62.5)	P 22
6. 芸術・文化の振興		
芸術文化活動の推進	総合評価：B (75.0)	P 23
活動組織、指導者の育成	総合評価：A (87.5)	P 23
7. 文化財と伝統芸能の継承		
文化財の保存・活用	総合評価：B (62.5)	P 24
伝統芸能の継承	総合評価：C (50.0)	P 25

## 評価方法

### 各事業評価の数値化

a = 期待される水準をはるかに上回っている (100)、b = 十分満たしている (75)、  
c = 満たしている (50)、d = あまり満たしていない (25)、e = 満たしていない (0)

各項目の評価基準 A = 100～81 B = 80～61 C = 60～41 D = 40～21 E = 20 以下

各事業の評価を数値化し、その平均値を上記の評価基準に基づいた総合評価を行った。

(小数点第2位以下切り捨て)

# 1. 学校教育環境の整備

**教育方針の計画的な展開**

**総合評価：A (91.6)**

施策のねらい

田上町の教育方針の理解推進を図り、教育方針に沿った学校運営、教育活動を展開する

## (1) 「田上の12か年教育」の理念継承

評価：a

### 【事業の概要】

「田上の12か年教育」の理念と取り組みを園・学校・地域が共有し合って、互いの役割を担いながら田上の子どもの教育にあたる。

### 【成果】

田上の12か年教育の中核であるキャリア教育に係る事項並びに意欲的な学びに係る事項について、年中園児から中学3年生徒までと教職員全員を対象にアンケート調査した。その結果を園・学校に示すとともに、単年度のグランドデザインにして全教職員に配付し、周知した。園・学校がミッションと連携の重点、互いが担い合う役割等を理解し合って、田上の子どもの指導にあたることの指導に努めた。

### 【課題・意見】

校長のリーダーシップと説明努力で保護者・地域から学校に関心を一層深めていただき、学校の応援団を増やしていく。

## (2) キャリア教育の推進

評価：b

### 【事業の概要】

田上の子どもが田上で多くの人と関わり、多様な経験を積んでいく活動を通して、「夢に向かう力」、「課題を捉え解決する力」、「自分の良さの可能性を見つけ発揮する力」、「よい人間関係を構築する力」、「田上への愛着心」を育む。

### 【成果】

町内の商工業者やPTA、学校関係者、教育委員会等で組織する「田上町キャリア教育推進協議会」を設置し、幼・小・中学校及び地域、産業界からの参加を得て、一貫したキャリア教育を展開した。

田上小学校は田上を学ぶ活動「田上学」、「寺子屋授業」、羽生田小学校は「田上の宝」を探る活動、田上中学校は地域学習「田上を知る」、「職場体験学習」、教育委員会は「夏まつりボランティア」など、町を学ぶ活動に取り組んだ。また、県の「小学校キャリア教育モデル事業」を活用し、「田上っ子宣言」の活動用品、田上の子どもが田上を学ぶ資料集「キャリア教育」を作成した。学校・保護者・地域が一体となって応援していく取り組みを活性化するとともに、保護者と地域の方々への周知と理解を図ることができた。

### 【課題・意見】

児童生徒は、学校での活動に積極的に取り組んでおり定着してきた。今後も地域において実施される活動に積極的に参加し、多くの人と関わることで田上への愛着心を育む活動に取り組んでほしい。

### (3) 学習指導要領の徹底

評価：a

#### 【事業の概要】

学習指導要領の趣旨を徹底するとともに、その目標を達成できるよう幼稚園、小学校、中学校が連携して取り組む体制を構築する。

#### 【成果】

2小学校がプログラミング教育を教育計画に位置付けて令和2年度から実践できるように、町独自の「田上町のプログラミング」資料作成したり、各小学校に出向いての2回の研修会を開催したりした。2小学校で共通の教材を購入する等、プログラミング教育への理解と準備がすすんだ。

#### 【課題・意見】

教職員の負担軽減とプログラミング的思考力の定着を図るため、年長園児から中学校3年生までの一貫性と実効性を伴う指導計画の整備が必要である。

## 家庭や地域との連携

総合評価：B (80.0)

#### 施策のねらい

家庭、地域、学校が連携することにより、町全体で子どもを育む体制を構築するとともに、「開かれた学校」づくりを目指す

### (1) コミュニティ・スクール

評価：b

#### 【事業の概要】

「開かれた学校」から1歩前進し、地域でどのような子どもたちを育てるのか、何を實現していくのかという目標やビジョンを保護者・地域の皆さんと共有し、地域と一体となって子どもたちを育む、「地域とともにある学校」を目指す。

#### 【成果】

平成29年4月1日に小中学校3校で学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールをスタートした。昨年は、学校地域コーディネーターの欠員が生じていたが、今年度は、3校に2名を配置でき、学校と地域が円滑に接する機会が増え、保護者や地域の理解が徐々に深まっている。

#### 【課題・意見】

「地域とともにある学校」を目指し、制度の浸透・地域の理解を深めるため、学校、学校運営協議会委員及び学校地域コーディネーターがさらに連携し、町全体で子どもを育む体制の構築に努める。

### (2) アウトメディア・ウィーク事業

評価：a

#### 【事業の概要】

幼稚園年中から中学校3年生まで、園児・児童・生徒が在籍する全家庭を対象に、家庭での子どものメディア接触について、家族で考え、家族でルールを作り、家族で取り組むことを促す。

#### 【成果】

町教研養教部会と連携して、年3回実施した。メディア接触に伴う様々な問題や発達段階に応じた具体的な取組を保護者に周知した。小学校の保護者88%以上、中学校の保

護者の74%からアンケートの回答があった。提出率が向上していることから、関心は高くなっていると思われる。「家族団欒の時間ができた」、「大人にも有益である」、「子どもは真剣に取り組んだ」といった肯定的な受け止めが多かった。

**【課題・意見】**

放任傾向、無関心な保護者への働きかけが課題である。小中学生と保護者へのSNSに係る注意喚起が急務であり、メディア教育を学校と保護者の連携に位置付けたい。

**(3) 夢ナビカルテ事業**

**評価：b**

**【事業の概要】**

県教育委員会が推進する「夢ナビカルテ」を積極的に活用し、保護者が子どもの将来に対する関心を深め、「聞き上手」、「褒め上手」、「引き出し上手」になることを目指す。子どもは自己実現に取り組み、成功体験を積み重ねていくことを目指す。

**【成果】**

小中学生が学校での学習を夢ナビカルテに整理して自宅に持ち帰り、家族との話し合いに活用した。子ども、保護者、担任の各記述から、家庭内対話の充実はキャリア教育に有効であると評価している。令和2年度から、県教育委員会が全小中高校で取り組むキャリア・パスポートの準備を整えた。

**【課題・意見】**

対話が成立しにくい家庭が存在している。授業で学習したことと家庭内対話を連携させるための資料を作成して、各家庭で活用できるようにしたい。

**(4) 田上夏まつり運営サポートスタッフ事業**

**評価：b**

**【事業の概要】**

小中学生が田上夏まつりに運営サポートスタッフとして参画することで、自己有用感を高めるとともに、地域との多様な関わりをもつ機会を提供する。

**【成果】**

今年度は、先生の声掛けのおかげで小学生25人、中学生31人の参加申し込みがあった。小学生は販売補助を行い、積極的にお客と触れ合うことができた。中学生は会場の設営準備、イベント運営補助や販売補助を行い、夏まつり実行委員会から高い評価を得た。また、熱中症対策のため、こまめに水分補給の休憩時間を設定し、児童生徒の体調管理に取り組んだ。

**【課題・意見】**

今年は、先生の声掛けのおかげで参加人数が大幅に増えた。今後も引き続き参加者増が見込めるような活動内容の工夫、検討が必要である。

**(5) 小中合同あいさつ運動**

**評価：b**

**【事業の概要】**

小中学生が、合同であいさつ運動を展開する。あいさつを通じて社会性を育む。

**【成果】**

中学校の生徒会役員とボランティアが2小学校を訪問（年1回3日間）し、小中学生が一緒になって玄関前であいさつ運動を推進した。各校、のぼり旗であいさつを呼び掛けたり、代表児童生徒があいさつリーダーになったりして、全校で意欲的にあいさつ運

動に取り組んだ。

【課題・意見】

田上町全体の活動にして、園児・児童・生徒・地域があいさつで交流し合う取組に育てていきたい。

教育環境の整備

総合評価：A (85.0)

施策のねらい

教育環境の整備を行うことで、円滑な学校運営、学びの環境を確保する

(1) スクールバスの運営

評価：b

【事業の概要】

通学距離等の理由により、通学が困難な児童生徒の通学時間の短縮・通学時の安全確保を図る。

【成果】

小中学校にマイクロバスを各2台配置。田上小学校 106 人、羽生田小学校 74 人、田上中学校 57 人が利用した（マイクロバス利用申請者数）。なお、田上中学校では、バス通学エリアを拡大し生徒の利便性向上に貢献した。登下校の送迎の他、校外学習での移動、公民館事業においても運行した。また、教員の人権研修や町のイベントにも運行を許可し有効利用を図った。

【課題・意見】

令和2年度に全バスが13年を経過する予定である。老朽化による突発的な故障も増え、長期のバスの修繕には、バスを修理工場に預け、町のマイクロバスを借りるケースも発生した。今後、運行に支障がでないよう、計画的な修繕を検討する必要がある。

(2) 児童クラブの運営

評価：a

【事業の概要】

小学校1年生から6年生を対象に、希望する児童に放課後保育を実施する。

【成果】

開設日数は、田上小学校 289 日（平日 187 日、土曜・長期休業 102 日）、羽生田小学校 289 日（平日 187 日、土曜・長期休業 51 日）。利用者は次表のとおり。

	登録者数	延べ利用者数		
		平日	長期休業・土曜日	計
田上小学校	96 人	4,332 人	1,324 人	5,656 人
羽生田小学校	86 人	4,992 人	1,722 人	6,714 人
合計	182 人	9,324 人	3,046 人	12,370 人

また、学校の新型コロナウイルス感染症による臨時休校に対し、指導員一丸となって対応し、クラブの安全な運営を達成した。

**【課題・意見】**

勤務する時間が夕方かつ短時間であること、また、保護者や児童への対応が多様化していることなどから、クラブを統率していくような優秀な人材の確保が難しい。現指導員の資質向上に努めるとともに、今後は、教員や保育士など児童や保護者対応の経験豊富な人材も探していきたい。

**(3) 学校給食費補助事業**

**評価： b**

**【事業の概要】**

食味のよい地元産コシヒカリを用いた米飯給食の普及定着と、米消費拡大、給食費の保護者負担の軽減に努める。また、地元農家や JA と協力して地元産食材を中心とした献立を展開する。

**【成 果】**

838 千円を補助し地元産コシヒカリの米飯給食を提供した。また、地元産の食材を給食に使用できるように納品組合と協力して取り組んだ。

**【課題・意見】**

田上町での旬の時期をはずれると、生産量や品質等が安定しないことがある。

**(4) 学校施設の計画的な改修**

**評価： a**

**【事業の概要】**

学校施設等の維持管理のための計画策定と改修を行う。

**【成 果】**

消雪用井戸さく井工事（羽生田小）19,025,000 円、空調設備設置工事（田上小）35,700,000 円（繰越事業：契約額 59,400,000 円）、空調設備設置工事（羽生田小）41,404,000 円（繰越事業：契約額 68,904,000 円）、空調設備設置工事（田上中）44,490,000 円（繰越事業：契約額 73,190,000 円）、インターホン取付工事（田上中）216,000 円など修繕を行った。

**【課題・意見】**

主な教室に空調設備を導入することができた。各学校とも築 30 年以上が経過し老朽化が進んでいる。長期的な展望に立ち、長寿命化計画等を策定していく必要がある。

**(5) 教育教材等の計画的な整備**

**評価： b**

**【事業の成果】**

教育用コンピュータをはじめとした教育教材等を計画的に整備し、教育環境の向上を図る。

**【成 果】**

学校図書システムを更新し、図書館用 PC を 1 台ずつ導入した。また、田上中学校では電子ピアノ 52,034 円、ハンディタイマー 60,480 円を購入。田上小では生物顕微鏡 90,720 円、羽生田小ではワイヤレスアンプ 116,100 円、プログラミングロボット 34,935 円をそれぞれ購入した。

**【課題・意見】**

令和 2 年度から始まるプログラミング教育用に、プログラミングロボットを購入し研究を行っている。既存備品の更新を行いながら、アクティブ・ラーニングなど新たな指

導に活用できる備品の調達に努める必要がある。

## 2.教育内容の充実

**学ぶ意欲と確かな学力の向上**

**総合評価：A (90.0)**

施策のねらい

- ・ 学力の向上
- ・ 教職員の指導力の向上

### (1) 管理指導主事の配置

評価：a

#### 【事業の概要】

学校運営に係る適切な指導助言、就学指導、人事等にあたる。

#### 【成果】

全国学力・学習状況調査やNRT検査、Web検査等の変容から、小学校と中学校ともに学力向上を確認できる。「自分の授業改善を自分でつくる」をねらいとする希望者研修への申込数が増加している。事故対応や各種報告、人事案件等では、学校と連絡調整を密にして連携している。

#### 【課題・意見】

教職員の働き方改革推進に伴って、多忙化解消と子供に向き合う時間の確保をどう具体化していくかが大きな課題である。田上町の特色ある教育に関心をもち、異動を希望する教員の獲得にも努めたい。

### (2) 園・校長面談

評価：b

#### 【事業の概要】

各園学校の運営方針とランドデザインに基づいて学校評価、進捗状況を確認し、改善点すべき事項を指導する。

#### 【成果】

各園校長と人事や多忙化などを含めた各園校の課題とその解決のプロセスを確認し合うだけでなく、幼小中連携に係る改善や新学習指導要領への取組状況などについても共有し合えるので有益である。

#### 【課題・意見】

管理職のリーダーシップの育成、カリキュラム・マネジメントといった学習指導要領への対応を強化していく。「田上の12か年教育」との関連付けを図っていく必要がある。

### (3) 田上町教育研究協議会支援

評価：a

#### 【事業の概要】

幼稚園、小中学校の教職員の連携による「田上の12か年教育」の充実に取り組む研修、活動費用等の支援にあたる。

#### 【成果】

一斉研修に「田上の12か年教育」を理解し合う場を設けていただいた。田上町の特色の一つであり、転入職員にも有益である。これまでの「確かな学力」から「主体的・対話的で深い学び」への円滑な移行に係る資料を提供し、幼小中の立場で準備することと



努力・創意すべき事項などを理解し合う機会にした。

**【課題・意見】**

毎年、田上町グランドデザインを更新して、一人一人の「選択と集中」事項を示し、効率的で実効性ある「田上の12か年教育」に改善していく。

**(4) N R T 検査**

**評価：b**

**【事業の概要】**

小中学校において、客観性の高いNRT検査（標準学力検査／集団基準準拠検査）を実施し、学力定着状況を把握して授業改善に活用する。

**【成果】**

小学校1年生から中学校3年生までの実態を把握することができ、その結果を基に各校長と情報を共有し、指導の改善に反映させた。

**【課題・意見】**

「小学校ではこの段階まで育成し中学校につなぐ」という連携の仕組みを構築し、一層の成果向上を図りたい。

**(5) W e b 検査**

**評価：a**

**【事業の概要】**

県教育委員会のW e b 配信システムに参加して、単元ごとの定着状況をきめ細かく把握し、授業改善に活用する。

**【成果】**

毎月の学年別の結果と問題別正答率などを学校別に作成して、各学校に情報提供した。同集団の経年変化を提供して、学校が児童生徒の学力実態に関心を高めることができるようにした。

**【課題・意見】**

検査結果を学校運営や学習指導の改善につないで、特色ある学習指導に活用できるようにしたい。

**創意工夫を生かした教育活動の充実**

**総合評価：B (68.7)**

施策のねらい

- ・ 郷土愛を育む教育活動の展開
- ・ 国際化、情報化に対応した教育の推進
- ・ 創意工夫を生かした教育活動の充実

**(1) 総合学習事業**

**評価：b**

**【事業の概要】**

地域の協力を得ながら、各校の総合的な学習の時間における町内での多様な活動を支援する。

**【成果】**

キャリア教育の充実に伴って、特色ある教育が推進されている。各校の具体的な教育活動を広報紙の発行で、町民の皆さんにお知らせすることができた。学校地域コーディネーターを各校1名配置し、学校と地域が円滑に接する機会が増えるように努めた。

**【課題・意見】**

現行の活動を新学習指導要領の目標や授業時数とのつながりで全校的に見直して、児童生徒がよりよく課題を解決しながら自己の生き方を考えていくための資質・能力を身に付けていく方策を提案することが課題である。

**(2) 学校図書司書の配置**

**評価：b**

**【事業の概要】**

各学校図書館の環境整備、調べ学習支援、読み聞かせなど、児童生徒が図書に触れる機会やつながりを向上させる。

**【成果】**

図書システムのパソコンのOSがサポートを終了したため、図書システムを更新した。パソコンの入れ替えを行った。各学校に毎月約15時間、図書司書を配置し、図書整理や選書作業を行い、児童生徒が本に興味や親しみを感じるような図書館の環境整備の向上に努めた。

**【課題・意見】**

月15時間程度の配置では、業務量に限りがあるが、担当の教職員と連携しながら図書環境の向上に取り組んでいく。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための消毒作業など臨時的な作業が増えることも想定され、本来業務に支障がでないよう努めていきたい。

**(3) A L T 配置**

**評価：b**

**【事業の概要】**

外国語活動並びに英語指導を補助し、国際理解の推進と英語教育の推進を図る。

**【成果】**

町全体で3人のALTを幼小中学校に配置し、3歳児から中学校3年生までの子ども達が英語に触れる機会を維持し、英語教育の推進に努めた。

**【課題・意見】**

令和2年度より学習指導要領の変更に伴い、5,6年生の英語が教科化されるため、ALTと教職員が連携し、英語教育のさらなる充実に向けた取り組みが必要である。

**(4) 大学連携事業**

**評価：c**

**【事業の概要】**

新潟経営大学、新潟薬科大学、新潟中央短期大学と連携し、各大学の教育資源を町の教育に活用する。

**【成果】**

理科支援員、児童クラブの運営補助、公民館ボランティアスタッフ、幼稚園の学生支援スタッフなど、児童生徒の教育活動の多様な機会に協力をいただいた。

**【課題・意見】**

大学と町が、相互に支え合う仕組みづくりのさらなる充実に向けた連携が必要である。

## 施策のねらい

- ・ いじめ撲滅の取組
- ・ 人権教育の展開
- ・ 不登校児童生徒の自学級への復帰支援

## (1) いじめ見逃しゼロスクール事業

評価：b

## 【事業の概要】

小中学生が一緒になり「いじめ」について考え、行動することにより、いじめ撲滅、人権教育の推進を図る。

## 【成果】

中学生は小学生の規範に、小学生は中学生を目標にすることができた。町関係者も加わって、小中学生がSNSの使い方やよい人間関係づくりについて学ぶことができた。「田上町あたたかカルタ」の活用も図られた。

## 【課題・意見】

保護者や地域の関心を一層高めて、横軸の連携を充実させることが課題である。

## (2) 人権教育、同和教育の推進

評価：b

## 【事業の概要】

町教職員の人権教育への知識や関心を向上させる。

## 【成果】

町教職員を対象に年2回の人権教育、同和教育に係る研修を開催。差別の実態を身近に感じるための現地研修会の際にスクールバスを運行し支援した。また、社会同和教育市町村巡回研修会（田上・三条・加茂ブロック）を11月6日（水）に交流会館で開催し「同和教育の現状と社会同和教育の視点」と題した敬和学園大学の藤野 豊教授による講演、「同和教育や差別の解消に向けて」をテーマとするグループワークを行い、見識を深めた。

## 【課題・意見】

人権、同和教育への正しい理解を一層推進し、差別の根絶を目指す必要がある。

## (3) 訪問相談員配置

評価：a

## 【事業の概要】

問題を抱える幼児児童生徒やその保護者を対象に、家庭訪問を行い、相談を通して問題の解決を図る。

## 【成果】

週3日間、訪問相談員を配置し、家庭訪問・面談86回、ケース会議・情報交換等114回を実施。小中学校における不登校、虐待、特別支援など、問題を抱える児童生徒や保護者への相談業務、学校との連携、児童相談所との連携等を行った。

## 【課題・意見】

問題解決までの状況把握や保護者理解、時間を問わずに行われる相談への対応など、

限られた勤務時間の中での対応、調整が課題となっている。家庭の抱える課題が多様化、複雑化しているため、関係機関と連携し継続した対応が必要である。

#### (4) 適応指導教室

評価：b

##### 【事業の概要】

不登校等の児童生徒に対し必要な学習・教育支援を行う。

##### 【成果】

指導員1名を配置し、不登校等の児童生徒が通いやすい環境を整備し、学習・教育支援を行った。

##### 【課題・意見】

指導員と教職員が児童生徒の情報を共有し、連携した支援が行えるよう体制を整える必要がある。

### 特別支援教育の充実

総合評価：B (75.0)

#### 施策のねらい

- ・ 就学相談、教育相談の実施
- ・ 支援員を配置し学習支援、生活支援

#### (1) 教育支援委員会運営事業

評価：b

##### 【事業の概要】

障害のある子どもたちの障害の状態、教育ニーズ、保護者の意見、医学・心理学等専門的見地からの意見等を踏まえ、その子どもに適した就学先を決定していくため、教育相談や就学相談を行う。

##### 【成果】

特別支援コーディネーター1名を幼稚園に配置し、年4回の連絡部会を開催している。4歳児から気になる園児の情報交換、行動観察による子ども理解、保護者との個別相談に取り組んだ。

##### 【課題・意見】

共生社会の形成に向けた「インクルーシブ教育」の重要性が叫ばれるなか、適切な就学・配慮が行えるよう、幼稚園、小中学校、教育委員会が連携し、早期からの情報共有と継続的な相談支援体制の充実が課題。特別支援教育や適正な就学についての保護者理解の促進と啓発。また、通常学級において、特別な支援を必要とする児童生徒への支援体制の充実が必要。

#### (2) 支援員配置事業

評価：b

##### 【事業の概要】

特別な支援を必要とする児童生徒の身辺介助や安全確保、教育支援等を行う。

##### 【成果】

田上小学校6人、羽生田小学校4人、田上中学校2人、計12人を配置。一人ひとり

の状況に応じた学習支援、生活支援を行った。

**【課題・意見】**

一人ひとりに求められる支援はさらに多様化しており、年々支援を要する児童生徒の割合は増加傾向にある。支援員と教職員が児童生徒の情報を共有し、連携した支援が行えるよう体制を整える必要がある。

### 3.生涯学習の条件整備

#### 生涯学習推進体制の強化

総合評価：B (68.7)

##### 施策のねらい

- ・ 学習情報の提供
- ・ 生涯学習の体制づくり
- ・ 学習成果を生かせるシステム確立

#### (1) 生涯学習情報の発行事業

評価：b

##### 【事業の概要】

公民館主催事業の情報を掲載した生涯学習情報を発行する。

##### 【成果】

毎月1回、町内全世帯に配布し、生涯学習事業の周知、参加促進を図ることができた。

##### 【課題・意見】

わかりやすく見やすい紙面を心がけた。また、町民からの記事掲載依頼も随時受け付け、掲載することで各団体の活動やイベント情報などの情報発信を行うことができた。

#### (2) ホームページによる情報発信

評価：c

##### 【事業の概要】

生涯学習に係る情報を町のホームページに掲載し情報発信する。

##### 【成果】

ホームページ上に生涯学習情報を毎月の発行日に合わせて掲載した。そのほか、駅伝大会や成人式の開催告知、実施報告を電子媒体で行ったことで、事業の周知、参加促進を図ることができた。

##### 【課題・意見】

ほぼ固定のイベント・行事のみしか、情報を掲載していない。これまで以上にホームページを活用し、様々な情報をより広く発信したい。

#### (3) 地区公民館活動補助事業

評価：b

##### 【事業の概要】

地区公民館が行う生涯学習活動を推進するため、その活動に要する経費の一部を補助し、地区の活性化と生涯学習を支援する。

##### 【成果】

18団体に1,250,000円を補助。子ども会活動事業分では、5団体に97,000円を補助し、生涯学習活動を推進した。

##### 【課題・意見】

認知度の低さからか、申請のなかった地区もある。より多くの地区で事業が実施されるよう今後も周知していく必要がある。

#### (4) 研修参加による職員の資質向上

評価：b

##### 【事業の概要】

生涯学習事業等の企画立案から運営まで行える職員の育成を図るため、各種研修会に参加する。

##### 【成果】

県社会教育研究大会、県公民館大会、中越社会教育研究集会、中越地区社会体育総合研修会等、社会同和教育市町村巡回研修会等、各種研修会に参加した。

##### 【課題・意見】

できるだけ各種研修会・研究大会等に参加するよう取り組んでいる。その研修会等で得た情報をもとに各事業の改善や新たな事業の企画につなげることが重要。今までの繰り返しだけではなく、新たな企画に取り組む機会を創出していきたい。

### 指導者・指導体制の充実

総合評価：B (75.0)

#### 施策のねらい

- ・ 多様化、高度化する学習要求に対応できる指導体制の確立
- ・ 地域における指導者の発掘と指導者の育成、資質の向上

#### (1) 生涯学習地区推進員の活用

評価：b

##### 【事業の概要】

各地区に生涯学習推進員を委嘱し、各地区の公民館等を拠点に生涯学習活動への意欲向上、活動援助等を行う。

##### 【成果】

推進員の役割や情報交換など認識を深めるため、推進委員の会議を7月と12月に実施。7月の会議の際は、「効果的な地区活動計画とは」と題した研修会を合わせて実施した。また、12月には、生涯学習ボランティア養成講座として「カイロプラクティック体験会」を合わせて開催した。

##### 【課題・意見】

今後も継続して各地区の推進員へ制度内容の周知と情報提供を行っていきたい。

#### (2) 生涯学習ボランティア養成講座

評価：b

##### 【事業の概要】

生涯学習に係るボランティアを育成するため、企画から運営までのスキルアップ講座を行う。

##### 【成果】

講座企画力養成のためには体験が重要との考えから、「カイロプラクティック体験会」を12月に生涯学習推進員の会議に合わせ開催した。

##### 【課題・意見】

生涯学習地区推進員のように町から委嘱されている方以外にも、新規の参加者・人材を呼び込める仕掛けを作りたい。

施策のねらい

- ・ 学習環境の整備

### (1) 田上町交流会館の建設

評価：a

#### 【事業の概要】

老朽化した町公民館の代替施設及びまちづくりの拠点整備として、田上町交流会館、田上町地域学習センターを建設する。

#### 【成果】

役場隣接地に総事業費 11 億 3,354 万 1 千円をかけ建設を進めていた田上町交流会館が、令和元年 6 月 10 日に竣工。6 月 28 日に三条振興局長、議会議長及び施工業者をお招きし竣工式を挙げる。8 月 31 日には開館を記念し町在住・町出身者の音楽家による開館記念コンサートを開催し、翌 9 月 1 日にグランドオープンした。

#### 【課題・意見】

田上町公民館で活動していた各団体が概ね交流会館に活動拠点を移すことができた。新型コロナウイルス感染症に伴う休業により令和 2 年 3 月の利用はほぼなかったが、オープンから 6 か月間で 11,968 人が利用した。

### (2) 田上町地域学習センターの整備

評価：b

#### 【事業の概要】

田上町交流会館と合わせ生涯学習及びまちづくりの拠点整備を行うため、原ヶ崎交流センターを改修し地域学習センターを整備する。

#### 【成果】

令和元年 12 月に(株)本間組三条営業所と建設工事請負契約を締結。当初予定より大幅に遅れたが、建設工事に着手することができた。

#### 【課題・意見】

令和 2 年度の完成に向けて工事を進めていく。また、運用方法や管理体制を構築していくため、条例や規則を整備していく必要がある。



## 4.主体的な学習活動の支援

**学習機会の充実**

**総合評価：B (75.0)**

施策のねらい

- ・ 各年齢層における学習ニーズに対応した講座、教室の開催
- ・ 多様化する現代的課題に向けた学習機会の提供
- ・ 郷土の理解を深める各種講座、教室の開催

### (1) ゆうゆう教室

評価：b

【事業の概要】

レクリエーション、自然体験、創作活動等を通じ、楽しむことの中から子ども達の自主性や協調性、創造性及び豊かな情操を育む。

【成果】

開催の都度、小学生全員に案内を配布した。開催回数8回で延べ参加者数227人が参加した。新潟経営大学の教授や学生が運営に関わってくれたほか、スポーツ推進委員もスタッフとして事業に巻き込むことができ、より幅広い年齢層の交流が行うことができた。

【課題・意見】

子どもだけを対象とした企画の参加人数が減少傾向にあり、特に高学年の子供たちの参加が少ない。今後は親子参加型のプログラムを増やしたり、学年別の内容を取り入れる等の対応の他、ここ数年行っていなかった新潟薬科大学の学生による「サイエンスプログラム」の開催を検討したい。

### (2) 夏休み妙高青少年研修

評価：b

【事業の概要】

自然体験や集団体験を通して生きる力を育むとともに、地域活動等でリーダーとして活動できる青少年の育成を図る。

【成果】

開催日程を全て平日にした他、これまで「対象：小学5年生以上、参加費：7千円」としていた設定を「対象：4年生以上、参加費：5千円」という内容に改めたところ、参加者が昨年度の倍以上となる25名（全員小学生）となった。その他、5名の学生スタッフとともに参加者同士が新たな人間関係を構築し、助け合いながら課題解決プログラムに取り組むことができた。

【課題・意見】

本事業が学校行事（職場体験）の開催と重なってしまったことにより、田上中学校からの参加が0人だった。日程の都合上仕方ないことではあるが、次回は中学生の参加者を呼び込み、「高校進学後はスタッフとして参加」という道筋へのきっかけを作りたい。

### (3) 子ども夏休み教室

評価：b

#### 【事業の概要】

遊びや伝統文化、生活、自然の中での体験により、心身の健やかな成長をもたらす学習機会を提供する。

#### 【成果】

「第34回国民文化祭にいがた2019」との合同企画及び「ニジマスつかみ取りにチャレンジ!」という2つのプログラムを計画・実施したところ、前者は42人（内、大人21人）、後者は50人が参加した。

#### 【課題・意見】

実施したプログラムが2つとも事前に綿密な打ち合わせを行えたことで、スムーズな進行、運営ができた。

### (4) 大人のためのゼミナール

評価：b

#### 【事業の概要】

主に成人向けの各種教室（講座）を開催し、青年、壮年層の生涯学習参加へのきっかけづくりとする。また、生涯学習指導者の発掘の場とする。

#### 【成果】

苔玉作り、多肉植物寄せ植え作り、コーヒーセミナー、全2回のスローフード教室、甚句太鼓講習会と、数は少ないながらも、交流会館オープンを記念した講座や館内の新しい設備を使ったイベントを開催できた。

#### 【課題・意見】

交流会館を会場とした教室や講座をより充実させるために、定期的に企画や行事を計画していきたい。

### (5) 生涯学習行政出前講座

評価：c

#### 【事業の概要】

町が重点的に取り組んでいる施策や暮らしに身近なテーマなどを用意し、職員が出向き直接町民に説明、意見交換することにより、町政への関心を深めるとともに、生涯学習意識の啓発と行政の活性化を図る。

#### 【成果】

「町の防災体制」（総務課）を1回、「認知症について」（保健福祉課）を1回開催し、延べ21人が参加した。

#### 【課題・意見】

今後も事業を継続していくとともに、より認知度を上げるべく町民への周知を行っていく。

### (6) ストレッチ教室

評価：a

#### 【事業の概要】

家庭でも気軽にできる体操を通して、日常生活に運動を取り入れ、健康増進、体力向上を図る。

**【成 果】**

開催回数 21 回、延べ 584 人が参加した。会場が交流会館多目的ホールとなった 9 月以降は受講者が増加傾向にあり、一番多い月で 74 名の参加があった。当事業は健康づくり教室として定着している。

**【課題・意見】**

今後も継続し、町民の健康づくりを支援する。

**(7) 国民文化祭・にいがた 2019 市町村独自事業 評価：b**

**【事業の概要】**

「国民文化祭（兼全国障害者芸術・文化祭）」が新潟県で開催されることを受け、県内各市町村で独自の事業を実施することになり、田上町では陶芸家の石田一平氏に講師を依頼し、「子どもアートの祭典記念モニュメント～伝え継ぐ K A T A T I ～」と題したアート作品の製作を行った。

**【成 果】**

幼児から大人までの参加者 42 名が陶土を使って製作したパネルを、3 基の箱形モニュメントに模様として加工し貼り付ける形で作品が完成した。完成後は、国民文化祭の会期開始に合わせて交流会館内に展示し、現在も多くの来館者の目を引いている。

**【課題・意見】**

「アートの楽しさを感じてもらう機会をつくる」というねらいはクリアできたように思う。今後は別事業でも同様のねらいで類似の事業を展開できればと考えている。

**(8) 早朝ハイキング 評価：a**

**【事業の概要】**

朝の清々しい空気を吸いながら護摩堂山を登り、頂上でラジオ体操を行うなど交流を深める。納会では皆勤賞、精勤賞を表彰する。

**【成 果】**

計 7 回実施し、延べ 200 人が参加。11 月には納会を開催し、皆勤賞 15 人、精勤賞 7 人を表彰した。

**【課題・意見】**

11 月の納会については、新しくできた田上町交流会館で実施した。今後も継続し、町民の健康づくりを支援する。参加者がほぼ同じ方であるため、新規の参加者を呼び掛けていく必要がある。

**(9) 囲碁将棋大会 評価：b**

**【事業の概要】**

囲碁将棋を通じ参加者同士の交流、親睦を深める。

**【成 果】**

新しくできた田上町交流会館での実施となり、昨年の田上町公民館では畳敷きの場所としたが、参加年齢も高齢者が多いことから、テーブルと椅子による対戦とした。参加者からは大変高評価で囲碁の部は 20 人、将棋の部は 9 人、計 29 人（前年度比：6 人増）

が参加した。

【課題・意見】

囲碁、将棋の普及、町民のコミュニケーションの場として機能している。今後も継続していきたい。また、今後若い人からの参加を呼び掛ける必要がある。

(10) ふるさと歴史講座

評価：b

【事業の概要】

田上町、その他の歴史と文化について学習し、郷土意識を高める。

【成果】

「日本マラソン界の名コーチ～金栗四三と佐藤秀三郎～」と題して1回開催し、5人が参加した。NHK大河ドラマ「いだてん」の金栗四三と佐藤秀三郎氏とのつながりやオリンピックの関連を歴史的背景とあわせて浮き彫りにした内容で大変興味深い講座であった。

【課題・意見】

参加人数が少なくとても残念であったが、今後参加者のニーズをとらえての講座開設に努めるとともに、質の良い講座を提供できるようにしたい。

(11) 人権講座

評価：c

【事業の概要】

町民の差別問題を始めとする人権問題に対する正しい理解と認識を深め、人権感覚の育成を図る。

【成果】

11月6日、社会同和教育巡回研修会（田上・三条・加茂ブロック）を交流会館で開催し、藤野 豊敬和学園大学教授による講演会及び「同和問題や差別の解消に向けて」をテーマにしたグループワークを行い、見識を深めた。

【課題・意見】

巡回研修会には3市町から教職員や人権擁護委員、教育委員会職員ら105人が参加した。公募により一般住民の参加者も募集したが参加はなかった。

(12) 家庭教育セミナー

評価：b

【事業の概要】

子どもの心理や心身の成長に伴う親の役割、関わり等について学ぶ機会を提供し、家庭での教育力の向上を図るとともに、家庭教育の重要性について認識を深める。

【成果】

親子クッキング（参加者24名）と、子育て応援隊「ママのためのリラックスタイム」と題した足つぼマッサージ体験会（参加者親子8組16名）の2つのプログラムを開催した。

【課題・意見】

これまでにない観点から事業を実施できたように思う。今後も子育て中の方が子どもと一緒に交流会館に来館してくれるきっかけとなれるような事業作りをしたい。

施策のねらい

- ・ 指導者の養成
- ・ 自主的なグループ活動の支援

### (1) 体験活動支援センター

評価：c

#### 【事業の概要】

地区やPTA、個人の生涯学習活動及び体験活動を支援するため、情報の収集と提供を行う。

#### 【成果】

地区行事、学校行事など計9件の相談があった。

#### 【課題・意見】

相談に来てくれるのが毎年同じ地区やPTA関係者であり、全体の受付件数も多いとはいえない。広報誌でPRする、といった周知活動で知名度を高めるとともに、様々な相談に対応できるように「貸出用品リスト」の作成や、地域コーディネーターと情報共有を行う等して職員の資質向上に努めたい。

### (2) 各種サークル活動の育成

評価：b

#### 【事業の概要】

公民館・交流会館等で活動するサークルの相談や情報発信などの支援を行う。

#### 【成果】

生涯学習情報を活用し、参加者募集やサークル開催日等の情報発信を行うとともに、サークルからの相談に応じた。交流会館オープンに伴い利用に関する相談などから新たに自主サークル(13団体)の立上げがあった。

#### 【課題・意見】

交流会館などを利用される、次代を担う若い方からも自主サークルなどの結成を促さなければならない。

### (3) 成人式

評価：b

#### 【事業の概要】

新成人を祝うと同時に、大人としての自覚を高めてもらう。

#### 【成果】

新成人による実行委員会を組織したことで、普段町事業と関わりの少ない青年層が主体的になって活動できた。活発な意見交換をしながら準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、開催を延期することとなった。

#### 【課題・意見】

例年出席率が対象者全体の8割に満たない状況である。今後は交流会館を会場として使うことも踏まえ、より多くの新成人から出席してもらえるような計画を実行委員と意見を交わしながら立てていきたい。

## 5.生涯スポーツの推進

### 生涯スポーツの普及

総合評価：B (68.7)

#### 施策のねらい

- ・ 誰もが気軽に楽しめるような体制づくり並びにニュースポーツの普及
- ・ スポーツの正しい知識や技術、マナー習得ができる各種教室の開催
- ・ スポーツ振興を促進するための指導者の育成、研修会等の実施

#### (1) 田上町スポーツ協会との連携と支援

評価：c

##### 【事業の概要】

体育協会、スポーツ少年団、スポーツクラブが合併し結成された田上町スポーツ協会と連携し、生涯スポーツの普及を図る。

##### 【成果】

各種大会の委託について導入から4年目を迎えた。協会内部で各競技団体と連携を取りながら適切に各種大会が実行できている。

##### 【課題・意見】

協会内部における財政や人材の面においてまだ課題が残っている。今後も継続して支援を行うとともに、都度相談の場を設ける等して連携体制を密にしていける必要がある。

#### (2) 佐藤杯争奪町内駅伝競走大会

評価：b

##### 【事業の概要】

青少年のスポーツ振興を図るため、郷土の生んだマラソン界の権威である佐藤秀三郎氏より優勝杯が贈られた。その争奪戦として、並びに町内の青少年の体力・精神力の向上を目的に開催する。

##### 【成果】

「第60回の節目と交流会館のオープンを記念した大会」と位置づけ、マラソンランナーの片岡純子さんにゲストランナーとして競技に参加してもらった他、競技終了後には特別講演をしていただいた。当日は計21チームがエントリーし、町スポーツ協会関係者やスポーツ推進委員からも協力を得ながら円滑に大会を開催することができた。

##### 【課題・意見】

例年、従事役員数の確保に苦しんでいる。近年は田上町陸上競技協会の紹介で専門知識を持った競技役員を多く派遣していただいているが、町内の有志や大学連携事業を活用する等、広くボランティアを募っていきたい。

#### (3) 田上町スキー教室

評価：b

##### 【事業の概要】

スキー技術の習得・向上とともに、スキーの楽しさや冬山の自然体験を通じて、町民相互の交流を促進する。

##### 【成果】

参加者増を狙って例年より募集期間を早めに設定し周知したところ、昨年度14名だった参加者が倍以上の29名となった。大人数となり運営面でも苦慮したが、当日は全員がケガなく無事に終えられた。

**【課題・意見】**

スノーボード人気の高まりから、例年当事業にスノーボードでの参加を希望する方がいるが、現体制では指導者がいないためあくまでスキーでの参加をお願いしている。そういった現状も踏まえつつ、事業の在り方や実施方法を関係団体とともに慎重に検討していきたい。

**(4) スポーツ推進委員主導による生涯スポーツの普及 評価：b**

**【事業の概要】**

スポーツ振興を促進するための指導者育成、研修会等を実施する。

**【成 果】**

計4回の会議を行った他、4つの体育行事（ソフトボール大会、佐藤杯駅伝、ゆうゆう教室、スキー教室）の計画・運営に関わってもらった。このうち、ソフトボール大会は参加チームの不足により中止となってしまったが、ゆうゆう教室は他市町村で開催された研修で学んだ知識を活かして行うことができ、参加者からも好評だった。

**【課題・意見】**

町内での自主事業や自主研修をより積極的に実施できるよう、今後も継続してサポートしたい。

**スポーツ施設の整備**

**総合評価：B (62.5)**

施策のねらい

- ・ 各種体育施設の整備充実
- ・ 学校体育施設の有効活用、管理運営体制の確立

**(1) 体育施設の維持管理 評価：c**

**【事業の概要】**

各体育施設の適正な維持管理を行う。

**【成 果】**

町民体育館の雨漏修繕（71,016円）、照明ランプ交換（86,735円）、羽生田野球場ナイター照明ランプ取替修繕（99,700円）をはじめ、各施設の維持管理に努めた。

**【課題・意見】**

施設の老朽化に伴い、日常的な点検や計画的な修繕、管理を行う必要がある。

**(2) 学校開放事業 評価：b**

**【事業の概要】**

夜間、休日等に社会体育施設の補完施設として、小中学校の体育施設を一般団体へ貸し出すことで生涯学習、スポーツの推進を図る。

**【成 果】**

小中学校の体育館、中学校の武道場について学校開放を行った。申請が被った際は団体間で調整して利用していた。

**【課題・意見】**

今後、利用団体が増加した場合、抽選等を検討する必要がある。また、施設の破損報告が数件あったため、利用団体には継続して注意を呼び掛けていきたい。

**主体的な活動の促進**

**総合評価：B (62.5)**

施策のねらい

- ・ 田上町スポーツ協会を中心とした各団体の育成強化と競技力向上
- ・ 生涯を通じた豊かなスポーツライフの実現及び多様なニーズへの対応
- ・ スポーツに対する認識の高揚

**(1) 全国大会出場者への褒賞制度**

**評価：b**

**【事業の概要】**

スポーツ・文化を通じて、町の代表若しくは団体の代表として各種競技会に参加、または審査会、発表会等で優秀な成績を収めた町民を褒賞する。

**【成 果】**

様々な競技大会、コンクールに出場した町民延べ45人に、450,000円を授与した。

**【課題・意見】**

制度の周知を行い、申請忘れを防いでいく必要がある。

**(2) 田上町スポーツ協会との連携と支援（再掲）**

**評価：c**

**【事業の概要】**

体育協会、スポーツ少年団、スポーツクラブが合併し結成された田上町スポーツ協会と連携し、生涯スポーツの普及を図る。

**【成 果】**

各種大会の委託について導入から4年目を迎えた。協会内部で各競技団体と連携を取りながら適切に各種大会が実行できている。

**【課題・意見】**

協会内部における財政や人材の面においてまだ課題が残っている。今後も継続して支援を行うとともに、都度相談の場を設ける等して連携体制を密にしていく必要がある。



## 6.芸術・文化の振興

### 芸術文化活動の推進

総合評価：B (75.0)

#### 施策のねらい

- ・ 各種団体などに日頃の活動成果を発表する機会の提供
- ・ 優れた芸術文化を鑑賞する機会の提供
- ・ 各種開催情報の提供、活動への参加促進

#### (1) 文化祭の開催

評価：b

##### 【事業の概要】

美術及び芸能を愛好する町民の創作を発表する場であると同時に、日常生活の中で芸術文化に親しむ心を養う。

##### 【成果】

展示の部については、出展団体 29 団体、出展作品約 169 点以上で 1,060 人の来場者となった。また、芸能の部では出演団体 21 団体、25 プログラムを行い 544 人の来場者数となり、全体で昨年度よりも 476 人増えた。

##### 【課題・意見】

田上町交流会館で初めて実施したが、展示については町民体育館に比べ展示スペースが少なく出展者に出品数を制限して展示してもらったため、思ったとおりの展示が出来なかった団体もあった。また、ホール部分を含む1階から3階まで展示を行ったことから、通路部分が狭くなり車イスで来館した方に不便を感じさせたため今後展示方法の見直しを検討する必要がある。

#### (2) ロビーコンサート等の音楽振興

評価：b

##### 【事業の概要】

発表の機会をつくるとともに、芸術文化を鑑賞する機会を提供する。

##### 【成果】

役場1階ロビーにてピアノ、声楽等のコンサートを年間計3回開催した。(出演者数延べ10人)

##### 【課題・意見】

役場ロビーだけではなく、田上町交流会館の多目的ホールやピアノを有効活用したイベントなども随時検討していきたい。

### 活動組織、指導者の育成

総合評価：A (87.5)

#### 施策のねらい

- ・ 文化協会など各種団体との連携、協力体制の強化
- ・ 各種団体などの活動促進

(1) 芸術、文化に関する指導者、活動組織の育成 評価：b

【事業の概要】

公民館・交流会館等で活動するサークルの相談や情報発信などの支援を行う。

【成果】

生涯学習情報を活用し、参加者募集やサークル開催日等の情報発信を行うとともに、サークルからの相談に応じた。交流会館オープンに伴い利用に関する相談などから新たに自主サークル（13団体）の立上げがあった。

【課題・意見】

交流会館などを利用される、次代を担う若い方からも自主サークルなどの結成を促さなければならない。

(2) 文化協会への支援 評価：a

【事業の概要】

文化協会との連携、協力体制の強化。

【成果】

文化協会の活動費の一部 220,000 円を補助した。また、文化祭を連携して新しい田上町交流会館で実施した。

【課題・意見】

新しく田上町交流会館のオープンにより活動の拠点を交流会館で行う団体が増えたことにより文化協会加盟団体が多くなってきた。また、加盟登録者の高齢化傾向も顕著になりつつあり、更に団体の結成や支援をしていく必要がある。

## 7.文化財と伝統芸能の継承

### 文化財の保存・活用

総合評価：B (62.5)

施策のねらい

- ・ 文化財や埋蔵文化財などの文化的遺産の啓発
- ・ 指定文化財所有者の協力による保存

(1) 指定文化財の管理助成 評価：b

【事業の概要】

指定文化財所有者の保存に対して、その費用の一部を助成する。

【成果】

国指定文化財：1件 10,000円

県指定文化財：1件 10,000円

町指定文化財：4件 20,000円

名木管理助成：7件 35,000円

また、上記助成金のほか、名木看板（「越の彼岸桜」）の改修を行った。

【課題・意見】

指定文化財の看板の更新が概ね完了した。

## (2) 文化財の一般公開

評価：c

### 【事業の概要】

文化財や埋蔵文化財などの文化的遺産の啓発。

### 【成果】

民俗資料館での常設展示のほか、行屋崎遺跡出土品を役場ロビーに展示した。老朽化した看板の更新が概ね完了した。

### 【課題・意見】

田上町公民館移転にともない、事前に交流会館に民俗資料館見学の申し込みが必要となった。看板が更新されたことで掲示内容が見やすくなった。

## 伝統芸能の継承

総合評価：C (50.0)

### 施策のねらい

- ・ 各種保存団体との連携による伝統芸能の発表の場、PR活動の促進、後継者の育成支援

## (1) 伝統芸能の保存のための支援と公開

評価：c

### 【事業の概要】

各種保存団体との連携による伝統芸能の発表の場の確保や後継者の育成支援を行う。

### 【成果】

田上甚句太鼓保存会と連携し甚句講習会の開催を実施。また、小学校のクラブ活動での指導など、学校と甚句保存会が連携した取り組みを行っている。

### 【課題・意見】

甚句太鼓保存会については一定の支援・連携が行えているが、五社神社や川前地区の神楽舞とは十分な連携が取れていない。今後、各団体と情報交換を行っていきたい。

## (2) 小学校での伝統文化継承

評価：c

### 【事業の概要】

伝統芸能の伝承のため小学校と連携した伝承活動を展開する。

### 【成果】

田上甚句については、小学校でのクラブ活動指導、運動会前の講習会、夏まつりでの小学生の発表支援を行った。

### 【課題・意見】

甚句太鼓保存会については一定の支援・連携が行えているが、五社神社や川前地区の神楽舞とは十分な連携が取れていない。今後、各団体と情報交換を行っていきたい。